



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニックトー  
コード番号 5367 URL <http://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西村 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 土井 祐二

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,247	15.3	325	177.1	340	156.9	215	160.6
27年3月期第2四半期	3,684	△6.2	117	△22.5	132	11.7	83	23.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.02	—
27年3月期第2四半期	6.91	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	12,442	9,148	73.5	766.36
27年3月期	12,560	9,084	72.3	760.96

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 9,148百万円 27年3月期 9,084百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	△3.1	510	15.7	530	13.2	340	19.3	28.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	12,135,695 株	27年3月期	12,135,695 株
28年3月期2Q	198,782 株	27年3月期	198,673 株
28年3月期2Q	11,936,967 株	27年3月期2Q	11,937,215 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前年後半から続く株高、円安の恩恵を受ける企業を中心に、比較的堅調に推移いたしました。夏以降特に中国の景気動向の不透明感が増してまいりました。

このような状況のもとで、当社は漸く回復いたしました電子部品業界の設備投資に対するセラミックス製品の納入が活発化する一方、エンジニアリング事業はこの分野に大口の物件がなく苦戦いたしました。

この結果、売上高は4,246,940千円となり、前年同期比15.3%の増収となりました。

事業別では、セラミックス事業は前述いたしました電子部品向けの耐摩耗セラミックスが大幅に伸びたことで、前年同期比21.4%増収の3,231,047千円となりました。市場別売上高構成比率では、電子部品向けが56.3%、化学・窯業・鉄鋼向け15.6%、新しく項目を設けました機械・ベアリング向け10.3%となり、今までその他に分類しておりましたこの分野の比率が単独で2桁の占有率となりました。

エンジニアリング事業につきましては、加熱装置の減少を計測機器で補え切れず、前年同期比0.6%減収の1,015,893千円となりました。市場別売上高構成比率では電子部品が32.0%、環境・エネルギー向け22.9%、自動車・重機向け16.4%、半導体向け15.2%となり、かなり分散いたしました。

損益面につきましては、セラミックス事業の受注高が大幅に伸びたことにより、工場の稼働率も上がり営業利益は前年同期比177.1%増益の325,294千円となりました。また、経常利益も同156.9%増益の339,660千円、税引前四半期純利益は同153.2%増益の325,367千円、四半期純利益も同160.6%増益の215,060千円となりました。

当第2四半期末の配当につきましては、予定通りの1株につき5円とさせていただきます。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債純資産の状況

資産は、流動資産で売上債権の減少により前期末比2.9%減少しましたが、固定資産で余剰資金の運用による投資有価証券の増加により前期末比2.1%増加しました。この結果、資産合計では前期末比0.9%減の12,441,706千円となりました。

負債は、流動負債で買掛債務の減少により前期末比6.2%減少しましたが、固定負債では僅かに前期末比0.5%増加しました。合計では前期末比5.3%減の3,293,678千円となりました。

純資産につきましては、繰越利益剰余金の増加により前期末比0.7%増の9,148,027千円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は1,981,989千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、大口受取手形の資金化による売上債権の大幅な減少で910,957千円の大幅プラスとなりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、余剰資金の運用による有価証券および投資有価証券の取得で575,159千円のマイナスとなりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払いを長期借入金の調達で賄い、23,412千円のプラスとなりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国は好調を維持しておりますものの、一方で利上げ問題が付きまとい、他方では中国の景気の失速が懸念されており予断を許しません。このような中で当社は特色のある製品で他社との差別化を図り、売上、利益の増大を目指す所存でございます。

平成28年3月期の業績予想につきましては、期初の予定を一部修正し、売上高85億円、営業利益5億1千万円、経常利益5億3千万円、当期純利益3億4千万円とさせていただきます。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,762,148	1,971,353
受取手形及び売掛金	3,753,245	2,989,677
有価証券	30,630	230,635
商品及び製品	572,692	590,684
仕掛品	1,119,250	1,179,813
原材料及び貯蔵品	305,439	303,655
その他	103,409	161,873
貸倒引当金	△700	△500
流動資産合計	7,646,115	7,427,193
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,529,124	1,492,535
機械及び装置(純額)	1,006,645	1,001,468
その他(純額)	704,727	693,292
有形固定資産合計	3,240,496	3,187,296
無形固定資産		
	35,908	50,756
投資その他の資産		
投資有価証券	1,522,335	1,691,317
その他	114,903	85,141
投資その他の資産合計	1,637,239	1,776,459
固定資産合計	4,913,643	5,014,512
資産合計	12,559,758	12,441,706
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	366,228	342,848
買掛金	1,265,515	1,202,094
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	184,008	217,336
未払金	294,729	245,616
賞与引当金	212,000	209,000
役員賞与引当金	15,820	7,910
その他	246,490	175,192
流動負債合計	2,984,791	2,799,998
固定負債		
長期借入金	140,548	190,204
役員退職慰労引当金	129,107	135,757
資産除去債務	38,688	39,018
その他	183,049	128,699
固定負債合計	491,393	493,679
負債合計	3,476,185	3,293,678

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	6,304,066	6,459,442
自己株式	△86,418	△86,465
株主資本合計	8,763,826	8,919,155
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	319,747	228,872
評価・換算差額等合計	319,747	228,872
純資産合計	9,083,573	9,148,027
負債純資産合計	12,559,758	12,441,706

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,683,580	4,246,940
売上原価	2,979,820	3,311,102
売上総利益	703,759	935,838
販売費及び一般管理費	586,352	610,543
営業利益	117,407	325,294
営業外収益		
受取利息	1,009	1,120
受取配当金	14,146	15,067
その他	7,692	5,844
営業外収益合計	22,848	22,032
営業外費用		
支払利息	5,107	5,013
コミットメントフィー	2,637	2,637
その他	280	14
営業外費用合計	8,025	7,666
経常利益	132,230	339,660
特別損失		
固定資産廃棄損	3,735	1,814
貸倒損失	-	12,478
特別損失合計	3,735	14,293
税引前四半期純利益	128,494	325,367
法人税、住民税及び事業税	41,000	125,000
法人税等調整額	4,975	△14,693
法人税等合計	45,975	110,306
四半期純利益	82,519	215,060



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	128,494	325,367
減価償却費	248,751	238,444
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△480
受取利息及び受取配当金	△15,155	△16,188
支払利息	5,107	5,013
投資有価証券売却損益(△は益)	0	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,812	27,351
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,650	6,650
貸倒損失	-	12,478
固定資産廃棄損	3,735	1,814
売上債権の増減額(△は増加)	109,964	763,567
たな卸資産の増減額(△は増加)	△94,782	△76,771
その他の資産の増減額(△は増加)	△549,980	△64,412
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,087	△89,392
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,778	△88,226
その他の負債の増減額(△は減少)	△17,158	△52,443
小計	△194,051	992,772
利息及び配当金の受取額	14,970	16,363
利息の支払額	△5,521	△5,159
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△91,602	△93,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	△276,205	910,957
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△52,996	△204,062
無形固定資産の取得による支出	△273	△17,702
投資有価証券の取得による支出	△100,891	△403,364
投資有価証券の売却による収入	0	-
貸付けによる支出	△1,000	-
貸付金の回収による収入	364	470
定期預金の払戻による収入	100,000	150,000
投資その他の資産の増減額(△は増加)	204	△500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,591	△575,159
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△164,648	△117,016
自己株式の取得による支出	△91	△46
配当金の支払額	△82,772	△59,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,487	23,412
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△278,308	359,210
現金及び現金同等物の期首残高	1,700,961	1,622,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,422,652	1,981,989

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,661,658	1,021,921	3,683,580	3,683,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,661,658	1,021,921	3,683,580	3,683,580
セグメント利益	106,409	10,998	117,407	117,407

当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,231,047	1,015,893	4,246,940	4,246,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,231,047	1,015,893	4,246,940	4,246,940
セグメント利益	309,397	15,897	325,294	325,294